

東広島市地域公共交通会議

平成20年3月24日設置
平成21年2月27日連携計画策定



東広島市

概要

東広島市は、平成17年2月に近隣5町と合併し、人口分布や高齢化率の程度の異なる地域を抱えている。合併前の旧市町における公共交通施策の状況は、福祉バスやタクシー助成券などを引き継いで実施しているため、地域間でサービスの差異が生じている。また、本市は多くの大学や研究機関が拠点を置く学園都市であるとともに、電子部品や自動車関係企業も多いことから、全国各地から本市への来訪者も多数あるところであるが、交通のターミナル機能を有する広島空港、東広島新幹線駅から市内中心部までの交通アクセスが十分とは言えない状況であり、市内の交通網についてもより一層の利便性の向上が望まれる状況である。

上記の現状を踏まえ、市全体の望ましい公共交通体系の構築を図るために、公共交通空白・不便地域における移動の確保、地域間格差の軽減、広島空港、東広島新幹線駅から市内中心部までの交通アクセスの充実、公共交通の利用促進を図るための情報提供を行うものである。

○大学・産業団地と広島空港、東広島駅間の移動サービスの実証運行

- ・大学・産業団地と広島空港、東広島駅間の移動サービスの提供の実現可能性を検証する。
- ・モデル事業として、広島大学との共同研究で広島大学及びその周辺企業等と広島空港を結ぶ移動サービスの実証運行を行う。

○安芸津町における地域公共交通の試験運行・利用促進・運行改善(4条運行路線との共存、商業施設等と連携した地域内移動の乗継割引等の検討)

- ・高齢者の通院目的のみに利用可能な福祉バスを誰でも、どんな目的でも利用可能とするため、木谷方面、風早方面、大田方面、小松原方面、大芝方面を対象に試験運行を実施する。

○河内町における地域公共交通の試験運行・利用促進・運行改善

- ・高齢者の通院目的のみに利用可能な福祉バスを誰でも、どんな目的でも利用可能とするため、入野方面、小田方面、宇山方面を対象に試験運行を実施する。

○公共交通の利用者の視点に立った情報提供(共通時刻表の作成)

- ・利用者にとってわかりやすい共通時刻表を作成し、配布する。

○大学、企業等を対象とした公共交通の情報提供による公共交通の利用促進(職場モビリティマネジメント)

- ・共通時刻表の配布に合わせて東広島市役所、大学、企業を対象に職場モビリティマネジメントを調整・検討する。

・大学・産業団地と広島空港、東広島新幹線駅間の移動サービスの実証運行

・共通時刻表の作成

・職場モビリティマネジメント

・地域との協働による地域公共交通の試験運行

・地域との協働による地域公共交通の試験運行

